

鉄道ピクトリアル

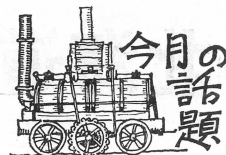
1971年 12月臨時増刊号 Vol. 21 通巻 No. 259

〈特集 北海道の鉄道〉

- 表紙 「重連待機」(第16回鉄道写真コンクール入賞).....千賀正紀撮影
- カラー頁 「最後のC62」(石倉付近のニセコ1号).....岸 幸男撮影
- グラフ

北海道の旅から.....	本島 三良	19
北海道想.....	高松吉太郎	22
炭礦と鉄道—北海道炭礦鉄道記念帳から—.....	高松吉太郎	24
噴火湾をゆく.....	岸 幸男	26
北海道を代表するSL列車.....	岸 幸男	28
鉄道フォトギャラリーC62のイメージ.....	原 京一	30
'72冬季五輪を待つ札幌市高速鉄道.....	牧野田知・岡五百理	32
青函連絡船.....	国有鉄道	34
青函トンネル工事本格化.....	鉄道建設公団	36
岩内線行.....	堀 淳一	38
函館本線にC62の三重連走る.....	原 京一	79
北海道代表列車グラフ.....	町野俊介・伊藤昭・落合明・大西清友	80
北海道ネームトレーン集.....	曾田英夫・村上尚・寺本光照	82
北海道の国鉄ローカル線抄(美幸線・白糠線).....	大町惟高・水野仁志	84
北海道の殖民軌道集(標茶町・幌延町・歌登町・別海町・浜中町).....	千葉 譲	86
4110健在.....	岸幸男・白土貞夫・楡林理一郎	88
北海道専用線・専用鉄道の車両—三美運輸・日曹炭鉄—.....	大西 清友	90
札幌市交通局.....	牧野田知・藤井信夫・今井静也	92
北海道の民営鉄道 [1] 夕張鉄道.....	藤井信夫・伊藤昭	94
北海道の民営鉄道 [2] 大夕張鉄道.....	大西清友・今井静也	95
北海道の民営鉄道 [2] 美唄鉄道.....	大西 清友	96
北海道の民営鉄道 [3] 釧路開発埠頭.....	大西 清友	98
釧路臨港・三井芦別.....	千葉譲・大西清友・後藤宏志	99
北海道の民営鉄道 [4] 旭川電軌.....	千葉 譲	100
函館市交通局.....	大西 清友	101
北海道の民営鉄道 [5] 苫小牧港開発・十勝鉄道.....	牧野田知・後藤宏志	102

■本文	編集部	3
巻頭言・北海道と鉄道.....	宮坂 崇躬	4
北海道の国鉄経営とその環境.....	猪口 信	11
'72冬季オリンピック輸送の概要.....	中川 浩一	12
北海道鉄道建設史考.....	本島 三良	39
ことしの北海道鉄道行.....	堀 淳一	42
戦後の北海道内主要列車の変遷.....	村上 尚	44
ローカル線を探る [8] 美幸線.....	大町 惟高	48
白糠線素描.....	酒井直人・水野仁志	50
失われた北海道内の国鉄線(胆振線・根北線).....	片岡 昭夫	52
北海道殖民軌道.....	小熊 米雄	57
北海道殖民軌道各説(歌登町営・浜中町営・別海町営・幌延町営・標茶町営).....	千葉 譲	61
4110健在なり.....	白土貞夫・岸幸男	68
私鉄車両めぐり [91] 「札幌市交通局補遺」.....	牧野田 知	70
北海道内専用線・専用鉄道の車両.....	大西 清友	103
北海道の私設鉄道と車両概要		
I 旭川電気軌道.....	西川喜隆・千葉譲	107
II 三井芦別鉄道.....	後藤 宏志	108
III 三菱炭業美唄鉄道.....	大西 清友	110
IV 三菱大夕張炭鉄大夕張線.....	今井 静也	112
V 釧路臨海鉄道.....	千葉 譲	114
VI 釧路開発埠頭.....	大西 清友	115
VII 十勝鉄道.....	後藤 宏志	116
VIII 苫小牧港開発.....	牧野田 知	117
IX 函館市交通局.....	大西 清友	118
旭川電気軌道余碌.....	川村孝太郎	120
後部車から.....		122



カット・土屋隆雄

北海道と鉄道

北海道に鉄道が建設されたのは、明治13年11月28日、手宮一札幌間に開通した幌内鉄道で、運炭鉄道としての機能と並んで、当時政府の緊急施策として進められていた北海道開発のため開拓鉄道としての使命をになっていた(国鉄百年史)とある。自來、91年間北海道の鉄道は、国鉄は もちろん、私設鉄道に至るまで、運炭・拓殖の使命をもってそれぞれ発展をつづけてきたといつてよい。したがって、その内容は多種多彩をきわめ、本土各地の鉄道発展の姿とはいちじるしく様相が相違していることは興味深い。

一方、昨年10月の国勢調査による北海道内の総人口は5,184,219人で前回40年調査をわずかに12,419人(0.2%)上回ったにとどまったが、国鉄の調査によると、昭和60年には本道一本州間の旅客は現在の5倍前後にふえ、約2,500万人と推定され、本道の交通は新しい時代への脱皮を余儀なくされている。そのなかで、近い将来、最も目ざましい変容をとげるものの一つが国鉄である。

バスに食われた形の国鉄の巻き返しはさまざまなビジョンによって実現しようとしている。そのエースは北海道新幹線であり、そのほかに石勝線の完成やガスタービン車の運転による旅客輸送のスピードアップ、貨物面ではコンテナの超特急ともいうフレートライナを主体に、新機軸が打ち出される。

本特集では、こういった背景を負った国鉄のビジョンをはじめとし、北海道開通本来の運炭鉄道や殖民軌道を殆んどすべてに、できうる限りの紙面を割いて特集としたものである。

[表紙]「重連待機」 千賀正紀撮影
(第16回鉄道写真コンクール第2部入賞)
函館本線倶知安駅 103レ '71-2-28
マミヤC220 セコールスーパー-180mm F4.5
絞り8 タイム60秒 フィルタなし
エクタクローム

[函説]「最後のC62」 岸幸男撮影
函館本線石倉付近 101レ '71-6-18
ミノルタオートコード ロッコールF3.5
絞り6.3 タイム1/250 エクタクローム

TETSUDOTOSHO KANKOKAI
New Kokusai Bldg, Marunouchi
3-4-1, Chiyodaku, Tokyo/Japan